

1 緒言

大阪・関西万博 2025 における NICT 関連の研究開発特集発行 によせて

1 *Introduction*

On the Publication of the Special Issue on NICT-related R&D Activities at Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan

盛合 志帆

MORIAI Shiho

大阪・関西万博(2025年日本国際博覧会)は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、2025年4月13日から10月13日にかけて大阪・夢洲にて開催された。2005年の愛・地球博以来、20年ぶりに日本で開催される万国博覧会は、未来社会のあり方を世界に提示する重要な契機であり、とりわけ、最先端の科学技術を展示する意義は極めて大きい。NICTは、情報通信分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関として、総務省主催の「Beyond 5G ready ショーケース」での展示をはじめ、「未来社会ショーケース」のフューチャーライフ万博での展示、会場の公式シグネチャーパビリオンを含む外部との共同展示を行った。これらの展示を通して、国内外の数多くの幅広い層の方々に、NICTの最先端の研究開発技術やBeyond 5G 基金事業において企業・大学が開発中の技術、さらにはICTスタートアップによる取組等の発信を行い、次世代通信がもたらす未来社会と最先端技術を体験いただくことができた。また、万博開催前から開催中にかけても、万博向けサイバーセキュリティ演習・監視対応や、多言語

音声翻訳技術による自動翻訳アプリ、次世代気象レーダによる豪雨予測等のNICTの研究開発成果を提供し、安全・安心で言葉の壁のない万博運営にも貢献した。本研究報告では、大阪・関西万博で活用・出展されたNICTの研究開発成果等について紹介する。

特に、「Beyond 5G ready ショーケース」には5月26日から6月3日の9日間の開催で4万人を超える来場者にお越しいただいた。とりわけ、目をキラキラさせながら展示に見入る子どもたち、校外学習で来場し熱心に説明に聞き入る高校生の皆さんが印象的であった。NICTからは研究所長をはじめ多くのメンバーが現地入りして説明を行ったが、いつもの出展や視察とは異なる相手を前に、わかりやすい言葉での説明に努めていた。また、ショーケース運営に当たって多くの大学生をはじめとした皆さんにスタッフジャンパーを着て展示説明に協力いただいたが、数日のうちに理解が深まり、説明が上達していくのを目の当たりにした。万博で目にした様々な技術展示によって、次世代を担う若い皆さんに何かが届き、社会全体での未来社会のデザインの共創が進んでいくことを願ってやまない。



「Beyond 5G ready ショーケース」での展示を指揮した
NICT の中里執行役(左)、長坂統括(右)とともに



盛合 志帆 (もりあい しほ)

執行役 経営企画部長

博士(工学)

暗号、プライバシー保護、サイバーセキュリティ

【受賞歴】

2023年 令和5年度 情報通信月間推進協議会
会長表彰 (情報通信功績賞) (個人)

2021年 第17回情報セキュリティ文化賞

2014年 文部科学大臣表彰 科学技術賞 開発
部門